

# 通院困難でもケア可能

## ..... おくちの 相談室 .....

十分だと、食生活（栄養）の悪化、体力の低下から社交性が減少し、閉じこもりや認知症に進む恐れがあります。健康を保つためには、お口のケアを行い、充実した食生活を営むことが大切です。

【問い】 自宅で車椅子生活をしている82歳の母親の義歯の調子が悪くなり食欲が低下しているようです。5年以上、歯科医院に行ったことがありません。訪問歯科診療をお願いしたいのですが、どこに相談したら良いでしょうか？  
（大村市、56歳男性）

【答え】 厚生労働省の調査によると、2020年の高齢化率（65歳以上の割合）は28・6%ですが、40年には約35%と推定され、3人に1人が高齢者という時代を迎えることとなります。高齢者の健康維持のために厚労省と日本歯科医師会は「80歳になっても20本以上、自分の歯を保とう」という「8020運動」を行い、16年には達成者が50%を超えました。

しかし、平均寿命の延びとともに要介護（要支援）認定者数が増加し、20年には669万人を超えました。質問のように治療及びケアを必要としながらも通院が困難なケースが増えています。高齢者の残存歯数は改善されましたが、お口のケアが不

十分だと、食生活（栄養）の悪化、体力の低下から社交性が減少し、閉じこもりや認知症に進む恐れがあります。健康を保つためには、お口のケアを行い、充実した食生活を営むことが大切です。

県歯科医師会では県内全域を対象にした「デンタルネット」をホームページに掲載しています。歯科連携室が設置されていない地区でも、スマートフォンやパソコンで申し込めば、訪問診療に対応した歯科医院を紹介できますので、ぜひ活用ください。

### 質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒8552-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

## 訪問歯科診療

回答者  
すみ 角  
とある 徹

大村市上諏訪町  
すみ歯科医院長

